

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	三国地区財産区管理事業		コード	06-01-12-10
			担当課・係	吉永総合支所総務課三国出張所
事業実施期間	昭和29年度～		担当者	松山喜代子
総合計画事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	電話	85-0005
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的(何のために)	三国地区財産区所有財産の管理
対象(誰・何を対象に)	三国地区民(約300名)
内容	三国地区財産区所有の土地管理及び造林木の保育事業

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
一般管理事業	709千円	663千円	
財産区管理事業	836千円	226千円	
植樹事業	539千円	300千円	
分収造林事業	583千円	5千円	
林道維持補修事業	0千円	0千円	

事業費(単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費 人件費	2,667 2,050	間接補助金等 受益者負担	278	市債	直接事業費 人件費	1,194 1,900	間接補助金等 受益者負担	183	市債	直接事業費 人件費	0	間接補助金等 受益者負担
必要人員	0.25	人	0.20	人	0	人	0	人	0	人	0	人	

結果指標	結果指標名	一般管理事業	一般管理事業	
	結果指標量	709	663	
	単位	千円	千円	
	対前年比	-	93.51%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	2,733,000円	1,138,000円	
	単位当たりコスト	2,733,000円	1,138,000円	
	結果指標名	植樹事業	植樹事業	
	結果指標量	539	300	
結果指標	単位	千円	千円	
	対前年比	-	55.66%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,984,000円	1,060,000円	
	単位当たりコスト	1,984,000円	1,060,000円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	保育を実施することにより森林の荒廃を防止、森林機能の維持。		
成果指標名	適切な施策	式又は説明	森林の荒廃防止
17年度	18年度		
成果指標量	公益性森林整備	公益性森林整備	
対前年比	-	#VALUE!	#VALUE!
到達目標値	健全な森林維持	到達目標年度	毎年継続

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：三国地区財産区管理条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

妥当性評価<A~E>	C
課題認識	
効率性評価<A~E>	C
課題認識	
有効性評価<A~E>	C
課題認識	
市民参画度	地域住民のため引き続き事業を行う。

平成19年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了
目標値	結果指標量 650
結果指標量	公益性森林整備 450

総合評価	
森林の多面機能の維持するため、計画的に保育管理をする必要がある。	評価区分<A~E> C

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	森林の荒廃防止	2~30年後	地球温暖化防止 水源かんよう